

平成30年生駒市教育委員会第3回定例会会議録

1 日 時 平成30年3月23日(金) 午前9時32分～午前10時40分

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

- (1) 報告第1号 臨時代理につき承認を求めることについて
(平成30年生駒市議会第1回(3月)定例会提出議案の意見について)
- (2) 議案第6号 生駒市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則の制定について
- (3) 議案第7号 生駒市学校医の委嘱について
- (4) 議案第8号 平成30年度生駒市社会教育基本方針及び重点目標について
- (5) 議案第9号 生駒市教育委員会事務局職員の任免について

4 出席委員

教育長	中 田 好 昭		
委 員 (教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	寺 田 詩 子
委 員	神 澤 創	委 員	浦 林 直 子
委 員	坪 井 美 佐	委 員	レイノルズあい
委 員	西 井 久 之		

5 事務局職員出席者

教育振興部長	峯 島 妙	生涯学習部長	西 野 敦
教育振興部次長	真 銅 宏	教育総務課長	辻 中 伸 弘
教育指導課長	吉 川 祐 一	学校給食センター所長	奥 田 茂
こども課長	前 川 好 啓	こども課指導主事	樋 田 良 恵
こども課指導主事	上 田 直 美	生涯学習課長	清 水 紀 子
図書館長	向 田 真理子	スポーツ振興課長	吉 岡 秀 高
教育総務課課長補佐	山 本 英 樹	教育指導課課長補佐	城 野 聖 一
こども課課長補佐	松 田 悟	生涯学習課課長補佐	梅 谷 信 行
スポーツ振興課課長補佐	西 政 仁	教育総務課(書記)	牧 井 望
教育総務課(書記)	鬼 頭 永 実		

6 傍聴者 0名

午前9時32分 開会

○開会宣告

○日程第1 前々回及び前回会議録の承認

○日程第2 会期・会議時間の決定

○日程第3 諸般報告

- ・4月の行事予定について、辻中教育総務課長、清水生涯学習課長から報告
(質疑) なし

○日程第4 報告第1号 臨時代理につき承認を求めることについて(平成30年生駒市議会第1回(3月)定例会提出議案の意見について)

- ・平成30年生駒市議会第1回(3月)定例会提出議案の意見について、辻中教育総務課長から説明

<参照:議案書p1、別冊1>

(質疑)

飯島委員:小・中学校において脱水銀化事業をされているが、現段階で完了していない学校はあるのか。

辻中課長:今回工事するのは、補助金の補助採択を受けた学校のみであり、残りは小学校で生駒小学校、生駒南小学校、生駒台小学校、真弓小学校、鹿ノ台小学校、あすか野小学校、壺分小学校、生駒南第二小学校である。そのうち、真弓小学校は今年度に体育館改修工事があるので、それに合わせて脱水銀化も行う予定である。中学校では光明中学校、大瀬中学校で完了しておらず、真弓小学校を除く小学校とあわせて9校が未完了の学校となる。

飯島委員:国庫補助と教育債によって支出しているようだが、今後の見通しとしては、後何年ほどかかるものなのか。

辻中課長:9校については、今後も補助採択をしていただくために要求をしていく。今年度と同様に5校ずつ採択されるとすると、あと2か年、平成32年度での完了を目標としている。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第5 議案第6号 生駒市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則の制定について

- ・生駒市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則の制定について、辻中教育総務課長から説明

<参照：議案書 p 2～4、資料 1－1～4>

(質疑)

飯島委員：課課長という職について、課長と課長補佐の間と伺ったが、どのような役職なのか。一般的には、副課長や課長代理などという役職名になるかと思うが、違いを知りたい。

辻中課長：課課長の職責については、補佐的なものではなく、課長と同列で、職務職階制において、部長が 8 級、課長、課課長は 7 級である。課長が一般的であるが、業務が膨大である場合や、業務分担が多岐にわたる場合に、1 人の課長では課の業務を掌握できないので、課課長を配置する。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第 6 議案第 7 号 生駒市学校医の委嘱について

・生駒市学校医の委嘱について、辻中教育総務課長から説明

<参照：議案書 p 5>

(質疑) なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第 7 議案第 8 号 平成 30 年度生駒市社会教育基本方針及び重点目標について

・平成 30 年度生駒市社会教育基本方針及び重点目標について、清水生涯学習課長から説明

<参照：議案書 p 6～9>

(質疑)

レイルズ委員：基本方針及び重点目標を本日承認した場合、平成 30 年度のアクションプランの取組として実施していくということか。

清水課長：そのとおりである。

レイルズ委員：教育大綱に基づいたもので、バランスよく、生駒らしい取組にしている。ただ一点、「4 すべての人が楽しく安心して成長できる機会の確保」について、「グローバル化など、社会の多様化が進む中、障がいの有無や国籍、性別、年齢などの個々の違いや多様性を認め合い、人権感覚を養う環境を整備します。」とあり、ユニバーサルキャンプを実施していただいているが、それ以外についてもさらに充実できないか。例えば、女性の活躍推進という面について、生駒は専業主婦が多く、もちろんそれも一つの選択肢ではあるが、社会に出てきてもらう必要がある。その選択肢を知り、社会進出の意識を持っていただくためには、社会教育が必要であると思う。今後、31 年度以降からでもいいので、そ

のような内容も充実させていただきたいという希望をお伝えしておきたい。

飯島委員：レイノルズ委員がおっしゃったとおり、大変良い目標を立てていただいていると感じた。更に良くするには、「3 「健康」「生きがい」「仲間」「まち」をつくるスポーツの発展」の「障がいのある人が、障がいの種別や程度に関わらず、スポーツに親しみ、楽しむ機会の充実を図ります。」について、今後の目標管理のためにも、開催回数、開催場所、開催日時の工夫など、どの観点から改善しようとしているのか、記載があるとよいだろう。また、既に実施していただいているビブリオバトルについても、同じような目標管理をしていただければ、より良くなるだろう。

坪井委員：「1 人と本、人と人をつなぎ、まちづくりの拠点となる可能性に満ちた図書館づくり」において、ビブリオバトルの中学生大会について記載いただいているが、ビブリオバトルは小学生大会や幼稚園大会も実施可能か。プレゼンテーション力の醸成につながると考える。

向田館長：中学校は、先生方の研修を実施するなどの連携の上で実施している。

吉川課長：幼稚園児には厳しいと思う。小学校については、学校の協力を得られれば、高学年なら可能ではないかと思う。

坪井委員：幼稚園では難しいというお話だったが、アメリカの幼稚園では、ショー・アンド・テルということをしており、幼少期から好きなことを人に伝えることに慣れ親しんでいる。程度の差こそあれ、日本の幼稚園児や小学校低学年児童にとっても、好きなものを人前で紹介するというのは可能であると思う。また、今まで好きなものを人前で紹介するような機会がなかった中学生らにとって、ビブリオバトルの取組は唐突な印象があるようだ。好きな本の紹介を通して、慣れ親しんでもらえればいいと思う。そのような経験の積み重ねの先に、高いプレゼン能力が期待でき、それは今後生駒の教育の目玉になっていくのではないかと思う。

城野補佐：小学校高学年では、本を紹介する取組がすでに行われており、紹介内容をシートに記入して、ポップのような形で、図書室の前に掲示するというような取組をしている学校もある。

坪井委員：その取組は図書委員がしているのか。

城野補佐：学校司書と学級担任との連携の中で実施しているもので、全ての児童に書かせている学校もある。

坪井委員：ビブリオバトルという形でなくても良いので、人前で発表するような機会があれば良いと思う。

城野補佐：全校生徒の前でというものはないかもしれないが、学校によっては、クラス単位で発表しているところもある。

飯島委員：今、坪井委員からご指摘いただいた内容は、生涯学習分野ではなく、学校教育の中の読書活動の指導や、アクティブラーニングに関わるものかと思うが、小学生にも司書教諭を通じて中学生はこのような活動をしているといったことを教えていくといいと思う。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第8 その他

- ・平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における生駒市立学校の調査結果について、吉川教育指導課長から説明

＜参照：その他資料1＞

(質疑)

西井委員：前回の得点とほぼ同じだったという報告であったが、5年生のT得点について、この学年に限ったことかもしれないが、全体で49.3と明らかに低い。この点はしっかりと受け入れるべきだ。長座体前屈は柔軟性、反復横跳びは敏捷性を測れると思うが、その2点が低いということは、怪我をしやすいと考えられる。それぞれの学校でこの結果を受けて何に力を入れていくのが大切だ。また、小・中学校の連携の中で、昔は中学校の体育教員が、測定日に小学校を訪れて、測定前に指導するといったことをしていたが、今もしているのか。

吉川課長：近隣の中学校の体育教員が小学校を訪れ、打合せ等しながら、測定前に指導をしている。

西井委員：事前練習でコツ等を教えることで結果が伸びることがあると思うので、継続していただきたい。昨年度の結果も今年度と同様だったのか。

吉川課長：ポイントの多少の差はあるが、ほぼ同様であった。

西井委員：体力も学力の一つと捉え、体作りも十分に組み込んでいただきたい。

中田教育長：これに関連して、平成30年度の体育については、小学校全校を回る「体力向上推進コーディネーター」の加配教員が1名配置される。その教員とともに、各校で授業内容等を研究していただけるものと思うので、様子を見ていきたい。

- ・デジタルミュージアムのシステム変更について、清水生涯学習課長から説明

＜参照：その他資料2＞

(質疑)

西井委員：私もデジタルミュージアムをよく活用している。生駒市出身者として、生駒の歴史を個人的に探っていくときに、大変参考になる。しかし、更に深めていくこともできるだろう。私が平群町に赴任していた際、歴史研究者から、南北朝の時代に、ほとんどの地域が北朝側につく中、生駒

谷は南朝側についており、北朝側から法楽寺等に十三の塔が賄賂として寄進されたと伺い、驚いた。一人の方から伺った話なので、事実関係の調査が必要かと思うが、そのような新しい歴史的事実が判明した際には、随時デジタルミュージアムに情報を追加していただければ、充実した内容になるだろう。

浦林委員：スマートフォンから閲覧が可能になったこと、更新が随時可能になったことなど、より使いやすく充実したものになっており、素晴らしいと感じた。このホームページに英訳を付けることは可能か。近年、外国人観光客の間で、地方の観光地を開拓することが流行っており、生駒市のPRとして、活用できるのではないかと思う。

清水課長：英訳を付けることに関しては、システム面で確認が必要である。英訳を付けるのは有用性が高いと感じるので、検討させていただきたい。

イノズ委員：このような歴史的な内容は、固有名詞等がおかしな英語になってしまう可能性が高いが、グーグルの自動翻訳を付けるなど簡単な方法でも検討していただきたい。

飯島委員：資料を事前にいただいたときに、現在のホームページを見て比較させていただいた。「いこま歴史散歩」等、以前のデータをそのまま使っている部分もあるが、デザインを統一し、以前よりも見やすくなったと感じた。トップページを見て、分かりやすく、アクセスしてみたいと思っていただくことは大変重要である。「いこまプロムナードスケッチ」では、マウス、スマートフォンの操作方法等の基本的なことも記載されており、アクセスしようという方が増えると思う。引き続きデータ更新にご尽力いただければと思う。

《 暫時休憩・職員退室 》

○日程第9 議案第9号 生駒市教育委員会事務局職員の任免について

- ・生駒市教育委員会事務局職員の任免について、峯島教育振興部長より説明

< 参照：議案書 p 10 >

《 個人情報を含むため、質疑内容は非公開 》

審議結果 【原案のとおり可決】

○閉会宣告

午前10時40分 閉会